操作説明書 EWR-010B / EWR-020B

UNI-PEX

非常起動のしかた
（1）感知器起動

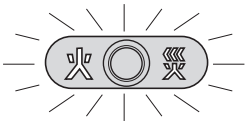
（階別信号入力）
感知器から
信号がくる。
（発報状態）

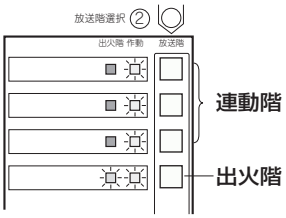
発報連動停止 表示灯消灯時
（消灯/点灯の切り換えは、マイクドア内の”発報連動停止スイッチ”でおこなう。）
（出荷時：消灯）

1 出火階、連動階に発報放送が放送される

ピンポン　ピンポン　ピンポン（第1シグナル音）
「ただいま○階の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」

（連動一斉表示灯点灯時は全館一斉に放送されます。）





- ●火災灯点滅（赤色）
- ●出火階表示灯点灯（赤色）
- ●階別の作動表示灯点灯（緑色）

2 操作を選択する

- ●**火災** ➡火災放送または非常起動スイッチを押す。**3**へ
- ●**非火災**➡ 非火災放送スイッチを押す。Ⓑへ

以下の場合には自動的に「火災放送」が放送されます。
・発信機起動　・第2感知器作動
・非常電話作動　・第1タイマータイムアップ（2～5分）

3 「火災放送」が放送される

ピンポン　ピンポン　ピンポン（第1シグナル音）
「火事です!火事です!○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」
ビュー　ビュー　ビュー（第2シグナル音）

- ●第２タイマーの設定時間（0 分／ 2～5 分 ）が経過すると一斉火災放送に移行します。**→4** へ
- ●第２タイマーの設定が OFF のとき一斉火災放送へ移行しません。
- ●マイクのスイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

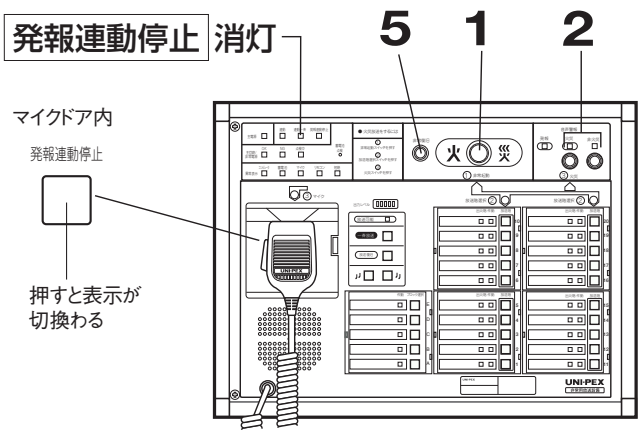
4 「一斉火災放送」が放送される

- ●全館一斉に「火災放送」が放送されます。
- ●放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

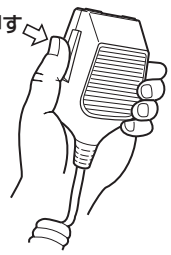
5 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
（感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。）

※ 発報連動停止 消灯



Ⓐ状況に応じて、マイクで放送する。（マイク放送優先）

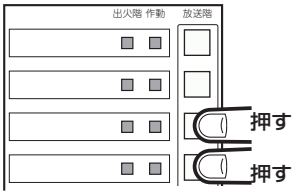


- ●作動表示灯が点灯している階にマイク放送が流れます。
- ●連動一斉表示灯点灯時は、マイクは全館一斉放送となります。
- ●火災放送時マイクで放送した後、マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

・放送階を選択し直すとき

①放送復旧スイッチを押す。

②必要な階を選択し、再びマイクで放送する。



放送階選択指示灯が点滅。

第2タイマーの設定時間（0分／2～5分）を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

Ⓑ「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す。

ピンポン　ピンポン　ピンポン（第1シグナル音）
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」

◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常起動のしかた
(2)感知器起動

（階別信号入力）
感知器から信号がくる。
（発報状態）

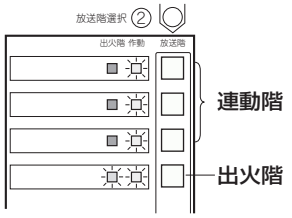
発報連動停止 表示灯点灯時

（消灯/点灯の切り換えは、マイクドア内の”発報連動停止スイッチ”でおこなう。）
（出荷時:消灯）

1 火災音信号が鳴る。

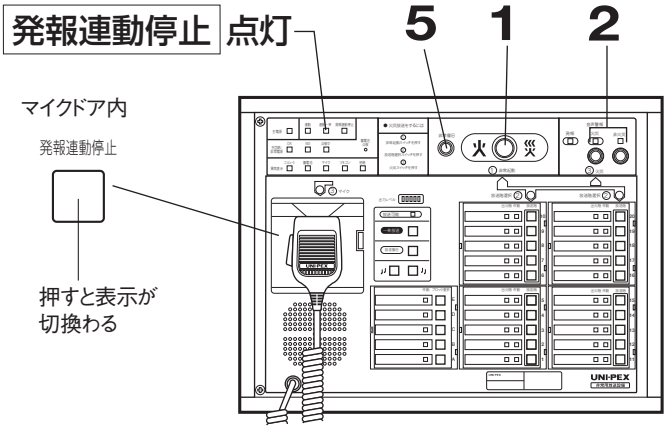
ピー、ピー、ピー

（発報放送は放送されません。）



●火災灯点滅(赤色)
●出火階表示灯点灯(赤色)
●階別の作動表示灯点灯(緑色)

※ **発報連動停止** 点灯



2 操作を選択する

●**火災** ➡火災放送または非常起動スイッチを押す。**3**へ

●**非火災**➡ 非火災放送スイッチを押す。Ⓑへ

以下の場合には自動的に「火災放送」が放送されます。
・発信機起動　・第2感知器作動
・非常電話作動　・第1タイマータイムアップ(2～5分)

3 「火災放送」が放送される。

ピンポン　ピンポン　ピンポン　（第1シグナル音）
「火事です!火事です!○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」
ビュー　ビュー　ビュー　（第2シグナル音）

●第 2 タイマーの設定時間 (0 分／ 2～5 分) が経過すると一斉火災放送に移行します。→**4** へ
●第 2 タイマーの設定が OFF のとき一斉火災放送へ移行しません。
●マイクのスイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

4 「一斉火災放送」が放送される。

●全館一斉に「火災放送」が放送されます。
●放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

5 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。)

Ⓐ状況に応じて、マイクで放送する。（マイク放送優先）

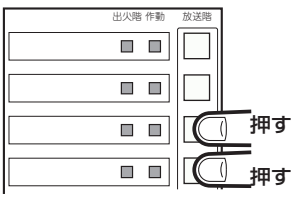
●作動表示灯が点灯している階にマイク放送が流れます。
●連動一斉表示灯点灯時は、マイクは全館一斉放送となります。
●火災放送時マイクで放送した後、マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

・放送階を選択し直すとき

①放送復旧スイッチを押す。

放送階選択指示灯が点滅。

②必要な階を選択し、再びマイクで放送する。



第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

Ⓑ「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す。

ピンポン　ピンポン　ピンポン(第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」

◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常起動のしかた

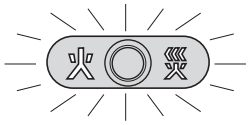
(3)発信機・非常電話起動(発報)

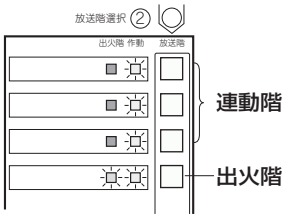
(階別信号+火災確認信号の同時入力)
発信機・非常電話から信号がくる。
(発報状態)

1 出火階、連動階に発報放送が放送されます。

ピンポン　ピンポン　ピンポン(第1シグナル音)
「ただいま○階の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」

(連動一斉表示灯点灯時は全館一斉に放送されます。)





- ●火災灯点滅(赤色)
- ●出火階表示灯点灯(赤色)
- ●階別の作動表示灯点灯(緑色)

2 操作を選択する

- ●**火災**　➡火災放送または非常起動スイッチを押す。**3**へ
- ●**非火災**➡ 非火災放送スイッチを押す。Ⓑへ

以下の場合には自動的に「火災放送」が放送されます。
・第2感知器作動(階別信号)
・発報放送終了(メッセージ2回)

3 「火災放送」が放送される。

ピンポン　ピンポン　ピンポン　(第1シグナル音)
「火事です!火事です!○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」
ビュー　ビュー　ビュー　(第2シグナル音)

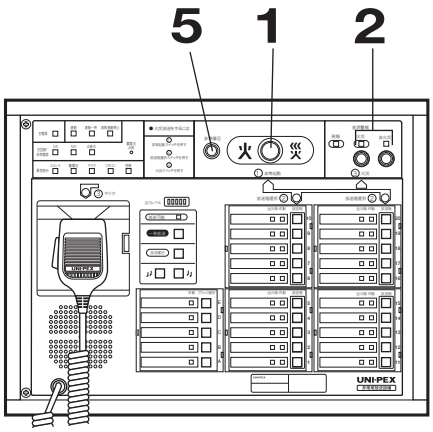
- ●第 2 タイマーの設定時間 (0 分／ 2～5 分) が経過すると一斉火災放送に移行します。→**4** へ
- ●第 2 タイマーの設定が OFF のとき一斉火災放送へ移行しません。
- ●マイクのスイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

4 「一斉火災放送」が放送される。

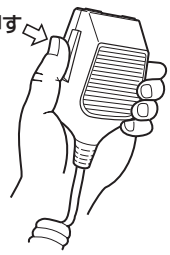
- ●全館一斉に「火災放送」が放送されます。
- ●放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

5 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。)



Ⓐ状況に応じて、マイクで放送する。(マイク放送優先)



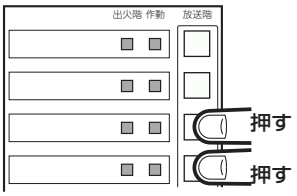
- ●作動表示灯が点灯している階にマイク放送が流れます。
- ●連動一斉表示灯点灯時は、マイクは全館一斉放送となります。
- ●火災放送時マイクで放送した後、マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

・放送階を選択し直すとき

①放送復旧スイッチを押す。

放送階選択指示灯が点滅。

②必要な階を選択し、再びマイクで放送する。



第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

Ⓑ「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す。

ピンポン　ピンポン　ピンポン(第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」

◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常起動のしかた
(4)発信機・非常電話起動(火災)

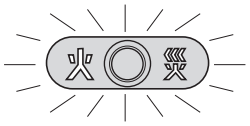
(階別信号+火災確認信号の同時入力)
発信機・非常電話から信号がくる。
(発報状態)

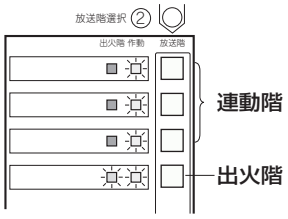
1 出火階、連動階に火災放送が放送される。

ピンポン　ピンポン　ピンポン (第1シグナル音)
「火事です!火事です!○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」
ビュー　ビュー　ビュー (第2シグナル音)

(連動一斉表示灯点灯時は全館一斉に放送されます。)

- 第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。→**2**へ
- 第2タイマーの設定がOFFのとき一斉火災放送へ移行しません。
- マイクのスイッチ、非常復旧スイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。





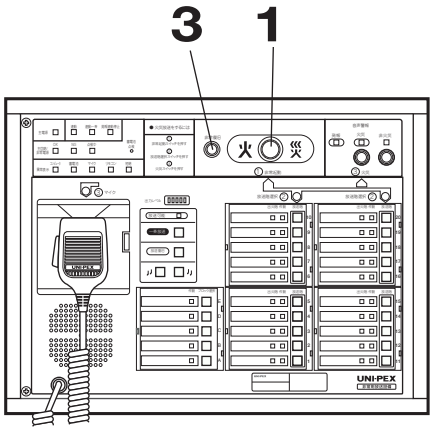
- 火災灯点灯(赤色)
- 出火階表示灯点灯(赤色)
- 階別の作動表示灯点灯(緑色)

2 「一斉火災放送」が放送される。

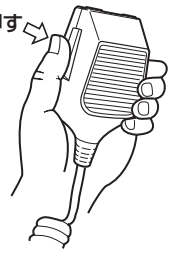
- 全館一斉に「火災放送」が放送されます。
- 放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。
- マイクで放送する場合はⒶへ
- 「非火災」放送を放送する場合はⒷへ

3 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。)



Ⓐ状況に応じて、マイクで放送する。(マイク放送優先)



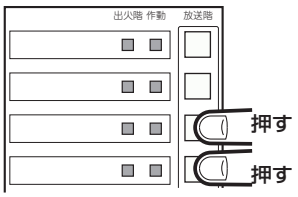
- 作動表示灯が点灯している階にマイク放送が流れます。
- 連動一斉表示灯点灯時は、マイクは全館一斉放送となります。
- 火災放送時マイクで放送した後、マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

・放送階を選択し直すとき

①放送復旧スイッチを押す。

放送階選択指示灯が点滅。

②必要な階を選択し、再びマイクで放送する。



第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

Ⓑ「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す。

ピンポン　ピンポン　ピンポン(第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」

◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常起動のしかた
(5)手動(発報)

手動起動には、手動連動と個別手動の
2種類があります。(出荷時は手動連動)
詳しくは工事説明書をご覧ください。

1 非常起動スイッチを押す。

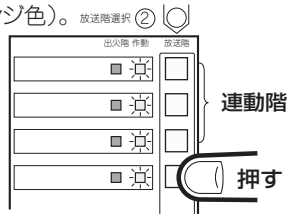
●放送階選択指示灯が点滅

2 放送したい階の放送階選択スイッチを押す。

押した場所が出火階となり、発報放送が放送されます。
一斉放送スイッチで一斉放送も可能です。

●放送階・連動階の作動表示灯が点灯(緑色)。
●放送階選択指示灯が点灯(オレンジ色)。

ピンポン　ピンポン　ピンポン
(第1シグナル音)
「ただいま火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」



3 操作を選択する

●**火災**　➡火災放送または非常起動スイッチを押す。**4**へ
●**非火災**➡ 非火災放送スイッチを押す。Ⓑ へ

以下の場合には自動的に火災放送されます。
・発信機起動　・第2感知器作動
・非常電話作動　・第1タイマータイムアップ(2～5分)

4 「火災放送」が放送される。

ピンポン　ピンポン　ピンポン　(第1シグナル音)
「火事です！火事です！ 火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」ビュービュービュー　(第2シグナル音)

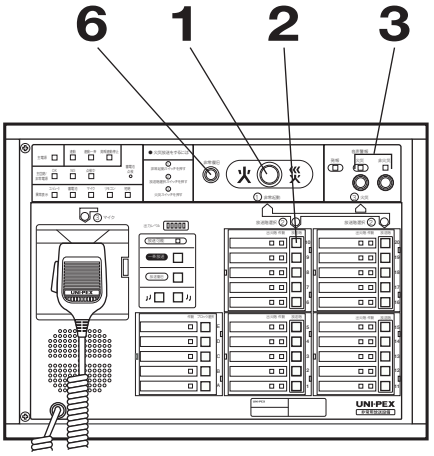
●第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。**→5**へ
●第2タイマーの設定がOFFのとき一斉火災放送へ移行しません。
●本体マイクのスイッチ、非常復旧スイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

5 「一斉火災放送」が放送される。

●全館一斉に「火災放送」が放送されます。
●放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

6 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。)



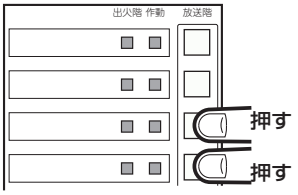
Ⓐ状況に応じて、マイクで放送する。(マイク放送優先)

●作動表示灯が点灯している階にマイク放送が流れます。
●連動一斉表示灯点灯時は、マイクは全館一斉放送となります。
●火災放送時マイクで放送した後、マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

・放送階を選択し直すとき

①放送復旧スイッチを押す。　②必要な階を選択し、再びマイクで放送する。

放送階選択指示灯が点滅。



第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

Ⓑ「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す。

ピンポン　ピンポン　ピンポン(第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」

◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常起動のしかた
(6)手動(火災)

手動起動には、手動連動と個別手動の
2種類があります。(出荷時は手動連動)
詳しくは工事説明書をご覧ください。

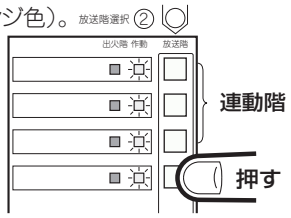
1 非常起動スイッチを押す。

●放送階選択指示灯が点滅

2 放送したい階の放送階選択スイッチを押す。

押した場所が出火階となり、発報放送が放送されます。
一斉放送スイッチで一斉放送も可能です。

●放送階・連動階の作動表示灯が点灯(緑色)。
●放送階選択指示灯が点灯(オレンジ色)。



3 「火災放送」が放送される。

ピンポン　ピンポン　ピンポン（第１シグナル音）
「火事です!火事です!火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」
ビュー　ビュー　ビュー（第2シグナル音）

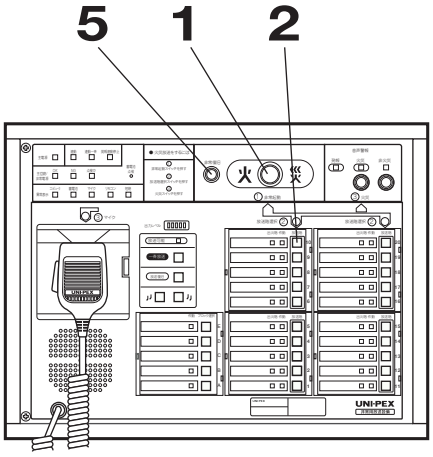
●第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。→**4**へ
●第2タイマーの設定がOFFのとき一斉火災放送へ移行しません。
●本体マイクのスイッチ、非常復旧スイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

4 「一斉火災放送」が放送される。

●全館一斉に「火災放送」が放送されます。
●放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

5 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。)



Ⓐ状況に応じて、マイクで放送する。(マイク放送優先)

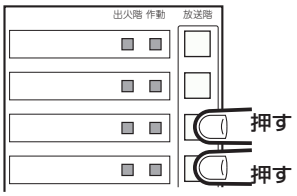
●作動表示灯が点灯している階にマイク放送が流れます。
●連動一斉表示灯点灯時は、マイクは全館一斉放送となります。
●火災放送時マイクで放送した後、マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

・放送階を選択し直すとき

①放送復旧スイッチを押す。

放送階選択指示灯が点滅。

②必要な階を選択し、再びマイクで放送する。



第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

Ⓑ「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す。

ピンポン　ピンポン　ピンポン(第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」

◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。